

科目名	現代ファイナンス論 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Theory of Modern Finance I	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	○	修得単位 2 単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	金融の基礎理論と金融論の視点を学ぶ。			
到達目標	ファイナンスの基本を身につけ、現実の金融取引の仕組みや金融の基礎理論を理解できるようになること。			
授業概要	この授業では主に金融の仕組み、基本ツール、金融市場、リスクの基本を学習する。			
授業計画 講義資料と教科書を併用して授業を進める。				
第 1 回	金融の仕組み① 金融の主体と資金循環、金融の方式と機能			
第 2 回	金融の仕組み② 金融仲介と金融機関、貨幣の機能			
第 3 回	金融の基本的な考え方① 利子率（名目・実質）、フィッシャー仮説			
第 4 回	金融の基本的な考え方② 貨幣の時間価値、2つの投資の評価方法の基礎			
第 5 回	金融の基本的な考え方③ 割引債の利回りと価格			
第 6 回	金融の基本的な考え方④ 利付債の利回りと価格			
第 7 回	金融の基本的な考え方⑤ 金利の期間構造理論の考え方			
第 8 回	金融の基本的な考え方⑥ 金利の期間構造理論とイールドカーブ			
第 9 回	金融の基本的な考え方⑦ 株価の決定理論			
第 10 回	金融の基本的な考え方⑧ 配当割引モデルと株価管理			
第 11 回	企業金融の基本① 企業の投資行動			
第 12 回	企業金融の基本② MM 理論の考え方			
第 13 回	企業金融の基本③ 資本市場の不完全性と MM 理論			
第 14 回	リスクの基本① 期待収益率と標準偏差			
第 15 回	リスクの基本② ポートフォリオと相関係数			
第 16 回	定期試験			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと			
履修条件 受講のルール	なし。			
テキスト	プリント配布			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行に勤務。審査・融資・企画業務を経験。また設備投資研究所、開発総合研究所において研究・調査実務にも従事。我が国における不動産証券化業務に携わるとともにREITやプロジェクトファイナンス手法などを他行に先駆けて我が国に紹介。政投銀とのネットワークを活かした最新の情報を提供する。			

学生への
メッセージ

ファイナンスを学ぶことで経済の動きを読むことができるようになります。